

財団法人 日本サッカー協会

平成 20 年度 第 1 回理事会

報告事項

1. F I F A クラブワールドカップの件

I. 2008 年度（4 月 1 日付け）J F A 組織体制

1. F I F A クラブワールドカップ J F A 実行委員会 /
JFA Management Committee for the FIFA Club World Cup

・委員長 / Chairman

川淵 三郎（J F A キャプテン）

・副委員長 / Deputy Chairman

小倉 純二（J F A 副会長 / F I F A 理事）

鬼武 健二（J F A 副会長 / J リーグ チェアマン）

・委員 / Member

田嶋 幸三（J F A 専務理事 / J F A 事業委員長）

犬飼 基昭（J F A 常務理事 / J リーグ 専務理事）

青木 治人（J F A 常務理事 / J F A スポーツ医学委員長）

松崎 康弘（J F A 理事 / J F A 審判委員長）

田中 道博（J F A 理事 / J F A 事務局長）

森本 裕康（財団法人 愛知県サッカー協会 専務理事）

安田 一男（財団法人 東京都サッカー協会 会長）

城 啓二（社団法人 神奈川県サッカー協会 専務理事）

鈴木 徳昭（J F A キャプテン特命担当本部長）

2. F I F A クラブワールドカップ J F A 実行本部 /

JFA Management Headquarters for the FIFA Club World Cup

・本部長 / Managing Director

鈴木 徳昭（J F A キャプテン特命担当本部長）

➤ コーディネーションオフィス

・チーフコーディネーションオフィサー / Chief Coordination Officer

五香 純典（J F A C H Q 部員）

・コーディネーションオフィサー / Coordination Officer

貝瀬 智洋（J F A 国際部係長）

加藤 秀樹（J F A キャプテン特命担当本部係長）

- 齋藤 聡 (J F A キャプテン特命担当本部員)
 高野 保子 (J F A 国際部員)
 岩貞 和明 (Jリーグ イレブンミリオンプロジェクト)
 ・セクレタリー / Secretary
 齋藤 美緒 (J F A キャプテン特命担当本部員)
 森泉 綾美 (J F A キャプテン特命担当本部員)

II. F I F Aクラブワールドカップ 2008 マッチスケジュール

12月11日(木)	東京	1	開催国代表 v. O F C
12月12日(金)			レストデー
12月13日(土)	東京	2	C A F v. C O N C A C A F
12月14日(日)	豊田	3	M1勝者 v. A F C
12月15日(月)			レストデー
12月16日(火)			レストデー
12月17日(水)	東京	4	M2勝者 v. C O N M E B O L
12月18日(木)	横浜	5	5位決定戦
	横浜	6	M3勝者 v. U E F A
12月19日(金)			レストデー
12月20日(土)			レストデー
12月21日(日)	横浜	7	3位決定戦
	横浜	8	決勝戦 (M4勝者 v. M6勝者)

2. F I F A理事会 報告の件

3月14日にF I F A理事会がスイス・チューリヒのF I F Aハウスにて開催された。
 主な決定事項は以下の通り。

■ 各国協会情勢

- ・深刻な政治的介入があったアルバニアサッカー協会を資格停止処分とする。
- ・トルコ・クウェートならびにドミニカにおける情勢を引き続き監視する。
- ・マダガスカル協会を解散する政令が3日以内に取り消されない場合、同協会を自動的に資格停止処分とする。
- ・エチオピアサッカー協会が同協会本部に再びアクセスできるよう、エチオピア政府に要請する。
- ・コンボの情勢を密に監視する。

■ 高地におけるサッカー

理事会の決定(2007年12月15日於東京)に対する南米サッカー大陸連盟による再検討要請

は棄却された。従い、選手及びマッチオフィシャルが事前に順応時間を与えられない場合のFIFA競技会の高度制限は従来の決定通りとなる。1月に全加盟協会に送られたサーキュラーの通り、以下の基準が追認された：

標高2,500mを超える場合：3日間の順応期間を強く勧める。

標高2,750mを超える場合：1週間の順応期間が必須。

標高3,000mを超える場合：最低2週間の順応期間が与えられる場合を除き、試合を行うことは一般に認められない。

※ 他のサッカー団体が運営する国際競技会においても同様の基準を導入することが改めて推奨された。

■ クラブ関連

- ・ FIFA、UEFAならびに主要クラブ間の関係改善を称賛。
- ・ 欧州クラブ協会の設立及びG-14の解散に関して報告を受けた。
- ・ Atletico Madridが訴訟を取り下げた。
- ・ Olympique Lyonnais及びG-14に関わる案件は棚上げされた。
- ・ シャルルロワの案件は、依然として多面的議論が継続中である。

■ 2007年度財政報告

8億3,300万米ドルの支出に対して8億8,200万米ドルの収入を上げ、全体で4,900万米ドルの余剰金を出し、自己資本が6億4,300万米ドルに上った。

■ 第58回FIFA総会

2008年5月29日及び30日にシドニー（オーストラリア）で開催される総会に向け、規約及び規約適用規則、とりわけ昇格及び降格の原則ならびに代表チームのためにプレーする資格に関する条項の修正が検討された。

■ 世界反ドーピング規定

- ・ WADAによる同規定に署名することが決定した。
- ・ これに関連し、2月29日に行われたFahy WADA会長とジョセフ・ブラッターFIFA会長の会談内容ならびに、改訂版規定には制裁により柔軟性を加えられるであろうことが報告された。

■ 2009年FIFA総会

9協会による招致の結果、バハマで開催されることとなった。

■ “6+5”の法則

FIFA会長は同ルールが競技会の結果及び不確実性を保護する上で不可欠であるとの考えを述べ、その導入を目指すことを強調した。理事会は会長を支持した。

■ 2010 FIFAワールドカップ™

・ネルソンマンデラベイ/ポートエリザベスのスタジアムに関する問題がFIFA理事会に報

告され、最終決定は4月29日に下されることとなった。

- ・ 南アフリカにおける電力供給状況に関する報告も行われた。

■ F I F A コンフェデレーションズカップ

同大会組織委員会の決定事項が承認された。

■ 2011 F I F A 女子ワールドカップ™

- ・ 決勝大会に進出するチーム数は従来同様16に決定した。
- ・ F I F A ワールドカップ™ の準備イベントをU-20 女子ワールドカップとすることで合意に達したため、2010年大会はドイツで開催される。

■ F I F A クラブワールドカップ

- ・ 5月27日にシドニーで開催される会議にて、2009及び2010年大会のホスト国が決定される。
- ・ 2008年大会は12月11日から21日にかけて日本で開催される。

■ 男子オリンピックサッカー大会決勝

- ・ 8月23日正午にオリンピックスタジアム（於：北京）で開催されることが確認された。
- ・ 男子大会のためにクラブが23歳以上の選手を快くリリースするよう訴えかけた。
- ・ ドロー（男子及び女子）は4月20日に北京で開催され、最後の出場枠をかけたブラジルとCAF 2位のチーム（ガーナ又はナイジェリア）間の女子プレーオフは4月19日に中国の首都北京で開催される。

■ F I F A フットサルワールドカップブラジル

- ・ 16から20への参加チームの増加に対応すべく、9月30日から10月19日にかけて開催される。
- ・ 合計70万米ドルの賞金が授与される。

■ 女子ワールドカップ

- ・ 2008年の2つのF I F A 女子競技会の日程及び年齢制限は、それぞれの大会開催期間に応じて若干修正された：
U-20 女子ワールドカップチリ（11月19日～12月7日開催）
U-17 女子ワールドカップニュージーランド（10月28日～11月16日開催）
- ・ 後者の大会に関し、新たな大陸連盟ごとの参加枠割り当て：AFC 3，CAF 2，CONCACAF 3，CONMEBOL 3，OFC 1（ホスト）及びUEFA 4が承認された。

■ アフリカネーションズカップ

国際マッチカレンダーにおける同大会の日程を2010年1月10日～31日に変更することを承認した。

- プレミアリーグの国際ラウンド
同ラウンドへの反対を支持した。
- 競技のフィールド
既存設備への訴求効力はないが、新しいスタジアムに適用されるフィールドサイズの統一(縦105m×横68m)に関する I F A B の決定が報告された。
- ゴールプログラム
 - ・ 現在、192 の加盟協会において 337 のプロジェクトが進行中である。
 - ・ 今後、F I F A は競技運営等への支援によるインフラの活性化に専念する予定である。
- “アフリカでアフリカと共に勝利”
 - ・ 本取り組みの実施状況に関し、これまでに 26 の人工芝プロジェクトが完了し、また 24 件が現在進行中、2 件が入札過程にあることが報告された。
 - ・ このプロジェクトを 2008 年末までに完了することを目指している。
- 各種プログラム
 - ・ 競技運営及びスポーツマネージメントをプロ化する数々のプログラムが承認された。
 - ・ 後者にはスポーツ研究国際センター(C I E S)による取り組みの一環であるアフリカの 4 大学との提携が含まれる。また、他の大陸に向けた取り組みも進行中である。

3. AFC 理事会 報告の件

3月25日にAFC理事会がマレーシアにて開催された。主な決定事項は以下の通り。

- AFC 懲罰委員会の決定
 - ・ 2007AFC U-16 大会での登録選手年齢制限について、キルギスタン、イラク、バングラデシュ、タジキスタン、マカオ、カンボジア、DPR コリア、ブータンに対し US \$ 4,000 が科される。
 - ・ 同予選を通過したイラク、DPR コリア、タジキスタンの AFC U-16 選手権への参加は無効となる。
 - ・ AFC 懲罰規程に則り AFC 女子アジアカップ予選試合中に退場しようとしたインドに厳しい警告文を出す。
- 英国プレミアリーグのアジアでの開催
 - ・ このような種類のいかなる活動も却下すること、ならびにこの計画に対し断固として非難することが事務局より提案され、満場一致で承認された。加盟協会はそのような試合を開催することは許可されない。

■ 親善試合及び大会

- ・ 加盟協会がその国内で大会を計画し承認を依頼する際には、AFC 規約に明記されている 60 日ではなく少なくとも大会開始 30 日前までに提出することが事務局より提案され、承認された。規約の修正に必要な手続きは事務局により追って行われる。

4. 第7回全国シニア(50歳以上)サッカー大会共催の件

平成20年度 第7回全国シニア(50歳以上)サッカー大会を、下記の通り実施する。

<大会概要>

1. 名称 第7回全国シニア(50歳以上)サッカー大会
(ねんりんピック北海道・札幌2009リハーサル大会)
2. 主催 (財)日本サッカー協会
3. 共催 ねんりんピック北海道・札幌2009札幌市実行委員会
4. 主管 (財)北海道サッカー協会

波線部の通り、本年度はねんりんピックのリハーサル大会として実施する。

5. 大会役員・審判員 国際試合派遣の件

(役員)

- ① MA Instructors of the prospective referee for the 2010 FIFA World Cup South Africa
インストラクター：松崎 康弘
期 間：4月7日(月)～15日(火)
場 所：FIFA他

(審判員)

- ① Beach Soccer World Cup 2008 Qualifier DUBAI
審判員：小野寺 祐、櫻田 雅裕
期 間：5月4日(日)～12日(月)
場 所：UAE/ドバイ

(マッチコミッショナー)

- ① AFC Cup 2008 - Group E
Kitchee (香港) vs. Perak (マレーシア)
マッチコミッショナー：今井 純子
試合日：2008年4月16日(水)
場 所：香港
- ② AFC Cup 2008 - Group B

East Bengal (インド) vs. Safa (レバノン)

マッチコミッショナー： 江川 純子

試合日：2008年4月30日(水)

場 所：インド

③ AFC Champions League 2008 - Group E

Adelaide United (オーストラリア) vs Pohang Steelers (韓国)

マッチコミッショナー： 貝瀬 智洋

試合日：2008年5月7日(水)

場 所：オーストラリア

6. 日本サッカーミュージアムの件

入場者数報告

3月 3,383人 1日平均 120.8人

(2007年 3,807人 2006年 4,664人 2005年実績 5,276人)

※ 2003年12月に開館

7. JFAロングパイル人工芝ピッチ公認(更新)の件

(更新)

1. 公認申請者：(財)東京都スポーツ文化事業団

施設名：駒沢オリンピック公園総合運動場第二球技場(東京都世田谷区)

施設所有者：(財)東京都スポーツ文化事業団 理事長 中野英則

ロングパイル人工芝：アストロプレイ-S(55) / (株)アストロ

公認日：平成20年4月10日～平成23年4月9日

公認番号：第14号

<特記事項>

- ◆ 公認規程に基づき1回の検査(フィールドテスト)を実施し、JFAロングパイル人工芝基準を満たしている。

2. 公認申請者：(財)東京都スポーツ文化事業団

施設名：駒沢オリンピック公園総合運動場補助競技場(東京都世田谷区)

施設所有者：(財)東京都スポーツ文化事業団 理事長 中野英則

ロングパイル人工芝：アストロプレイ-S(64) / (株)アストロ

公認日：平成20年4月10日～平成23年4月9日

公認番号：第15号

<特記事項>

- ◆ 公認規程に基づき1回の検査(フィールドテスト)を実施し、

JFA ロングパイル人工芝基準を満たしている。

8. 名義使用申請の件

- (1) 申請団体：(財)日本体育協会
 事業名：第12回日韓青少年スポーツ交流事業
 主催：(財)日本体育協会
 共催：(財)福岡県体育協会、(社)和歌山県体育協会、(財)日本サッカー協会、
 (財)日本バレーボール協会、(財)日本バスケットボール協会、
 (財)日本卓球協会、(財)日本バドミントン協会
 後援：福岡県教育委員会、和歌山県教育委員会
 主管：派遣－(財)福岡県体育協会、(社)和歌山県体育協会
 受入－(財)福岡県体育協会
 期間：派遣－2008年8月16日(土)～22日(金)
 受入－2008年8月16日(土)～22日(金)
 会場：派遣－大韓民国/光州広域市
 受入－福岡県各地
 事業内容：日韓両国の代表団員が互いの国を訪問し、さまざまな交流を行うと共に、
 両国のスポーツの振興を図る。

9. 海外遠征申請の件

- (1) (財)東京都サッカー協会
 チーム FC東京U-15 深川 (第3種)
 遠征期間 2008年5月8日(木)～14日(水)
 遠征先 フランス パリ
- (2) (社)滋賀県サッカー協会
 チーム 滋賀県トレセンU-14 チーム (第3種)
 遠征期間 2008年3月20日(木)～31日(月)
 遠征先 ブラジル サンパウロ
- (3) (社)兵庫県サッカー協会
 チーム 神戸市U-13 選抜チーム (第4種)
 遠征期間 2008年3月26日(水)～30日(日)
 遠征先 中国 上海
- (4) (社)大分県サッカー協会
 チーム 大分トリニータU-18 (第2種)

遠征期間 2008年3月22日(土)～29日(土)

遠征先 韓国 蔚山

<遠征日程変更(3月13日承認分)>

(1)(社)佐賀県サッカー協会

サガン鳥栖U-18 韓国・釜山遠征の遠征日程が4/1(火)～4(金)より

3/29(土)～4/1(火)に変更

10 1級審判インストラクター認定の件

3月23日開催の審判委員会において、次の者を1級審判インストラクターとして認定した。

1. JFAアセッサーからの移行者

飯田文男、石井慶一、岩崎奎介、内田直人、植村 久、大倉健史、岡田 昭、岡田征三、岡段忠典、沖野隼夫、小田川正二、木村孝行、九里 孝、越山賢一、小原紘宣、佐藤 満、澤田嘉男、塩屋園文一、高橋敏雄、綱島四郎、永松常德、中道静晴、中村 祐、夏井正彦、成田雅明、濱名哲也、早坂良雄、藤田利明、不破 信、村松幸雄、山城 大、山田 正、山田 等、吉村 修、渡辺辰也、渡辺正範、渡邊 亘(以上37名)

2. JFA推薦

砂川恵一、長田和久、唐木田 徹、鈴木亮哉、土本 泰、谷内浩仁、山口森久、辺見康裕、山口茂久、原田秀昭(以上10名)

3. 地域推薦

古川 浩、古川洋一、北郷光宏、関根弘之、野原敬司、向井裕明、瀧野勝利、福岡幹男、中熊光義、三宅 毅、柳澤和也、佐賀慎治、南 浩二、宮成武人、河野 暁、吉野内浩志、浜田章治、泉 弘紀(以上18名)

11. 2008年度フットサル1級審判員認定の件

次の4名の審判員はいずれもフットサル1級審判員としての技量があると判断されたので、2008年3月23日付けでフットサル1級審判員として認定した。

①成田 ^{なりた} ^{けんいち} 憲一(東北・福島県:36歳)

②山崎 聖也（関東・東京都：29歳）

③小崎 知広（関西・大阪府：29歳）

④津和 英史（関西・大阪府：33歳）

*年齢は2008年4月1日時点 平均年齢：31.7歳

12. 日本代表 2010FIFA ワールドカップ 南アフリカ アジア3次予選の件

行事名：2010FIFA ワールドカップ アジア3次予選 vs タイ代表

期 間：2008年2月1日（金）～2月6日（水）

場 所：千葉県・埼玉県

[スケジュール]

2月1日（金）集合、トレーニング

2日（土）～4日（月）トレーニング

4日（月）移動（埼玉県）

5日（火）公式練習

6日（水）日本代表 v s タイ代表

[スタッフ]

監 督 : 岡田 武史 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 大木 武 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 大熊 清 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 小倉 勉 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

GK コーチ : 加藤 好男 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

テクニカルスタッフ : 和田 一郎 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)

テクニカルスタッフ : 武藤 覚 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)

ドクター : 清水 邦明 (横浜市スポーツ医科学センター)

アスレティックトレーナー : 早川 直樹 ((財)日本サッカー協会)

アスレティックトレーナー : 前田 弘 ((財)日本サッカー協会)

アスレティックトレーナー : 池内 誠 (フリー)

統括 : 加藤 彰恒 ((財)日本サッカー協会代表チーム部部长)

総 務 : 津村 尚樹 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)

メディアオフィサー : 永松 太 ((財)日本サッカー協会広報部)

宿泊・輸送 : 瀧森 誠 (西鉄旅行(株))

キットマネージャー : 山根 威信 (アディダスジャパン(株))

キットスタッフ : 関口 豪 (アディダスジャパン(株))

[選手]

GK	川口 能活	(シユビロ磐田)
	楯崎 正剛	(名古屋グランパスエイト)
	川島 永嗣	(川崎フロンターレ)
DF	中澤 佑二	(横浜F・マリノス)
	坪井 慶介	(浦和レッズ)
	加地 亮	(ガンバ大阪)
	駒野 友一	(シユビロ磐田)
	岩政 大樹	(鹿島アントラーズ)
	水本 裕樹	(ガンバ大阪)
	内田 篤人	(鹿島アントラーズ)
	MF	橋本 英郎
	羽生 直剛	(FC東京)
	遠藤 保仁	(ガンバ大阪)
	中村 憲剛	(川崎フロンターレ)
	鈴木 啓太	(浦和レッズ)
	阿部 勇樹	(浦和レッズ)
	山瀬 功治	(横浜F・マリノス)
	今野 泰幸	(FC東京)
	山岸 智	(川崎フロンターレ)
FW	高原 直泰	(浦和レッズ)
	播戸 竜二	(ガンバ大阪)
	巻 誠一郎	(ジェフユナイテッド市原・千葉)
	前田 遼一	(シユビロ磐田)
	大久保 嘉人	(ヴァンラーズ八戸)
	矢野 貴章	(アルビレックス新潟)

計 25 名

13. 日本代表 東アジア選手権の件

行事名：東アジア選手権

期 間：2008年2月12日(火)～2月24日(日)

場 所：中国・重慶

[スケジュール]

2月12日(火) 集合

13日(水) 出発

14日(木) トレーニング

15日(金) 公式練習

16日(土) トレーニング
 17日(日) 日本代表 v s 北朝鮮代表
 18日(月) トレーニング
 19日(火) トレーニング
 20日(水) 日本代表 v s 中国代表
 21日(木) トレーニング
 22日(金) トレーニング
 23日(土) 日本代表 v s 韓国代表
 24日(日) 帰国

[スタッフ]

団 長 : 大仁 邦彌 ((財)日本サッカー協会 副会長)
 技術委員長 : 小野 剛 ((財)日本サッカー協会 特任理事)
 監 督 : 岡田 武史 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 コーチ : 大木 武 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 コーチ : 大熊 清 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 コーチ : 小倉 勉 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 GK コーチ : 加藤 好男 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)
 テクニカルスタッフ : 和田 一郎 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)
 テクニカルスタッフ : 武藤 覚 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)
 ドクター : 樋口 潤一 (獅子目整形外科病院)
 アスレティックトレーナー : 早川 直樹 ((財)日本サッカー協会)
 アスレティックトレーナー : 前田 弘 ((財)日本サッカー協会)
 アスレティックトレーナー : 池内 誠 (フリー)
 統括 : 加藤 彰恒 ((財)日本サッカー協会代表チーム部部長)
 総 務 : 津村 尚樹 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)
 メディアオフィサー : 永松 太 ((財)日本サッカー協会広報部)
 宿泊・輸送 : 瀧森 誠 (西鉄旅行(株))
 キットマネージャー : 山根 威信 (アディダスジャパン(株))
 キットスタッフ : 関口 豪 (アディダスジャパン(株))

[選 手]

GK 川口 能活 (ジュビロ磐田)
 榑崎 正剛 (名古屋グランパスエイト)
 川島 永嗣 (川崎フロンターレ)
 DF 中澤 佑二 (横浜F・マリノス)
 加地 亮 (ガンバ大阪)
 駒野 友一 (ジュビロ磐田)
 岩政 大樹 (鹿島アントラーズ)

	水本 裕樹	(ガンバ大阪)
	安田 理大	(ガンバ大阪)
	内田 篤人	(鹿島アントラーズ)
MF	橋本 英郎	(ガンバ大阪)
	羽生 直剛	(FC東京)
	遠藤 保仁	(ガンバ大阪)
	中村 憲剛	(川崎フロンターレ)
	鈴木 啓太	(浦和レッズ)
	山瀬 功治	(横浜F・マリノス)
	今野 泰幸	(FC東京)
	山岸 智	(川崎フロンターレ)
FW	播戸 竜二	(ガンバ大阪)
	前田 遼一	(シブヒロ磐田)
	田代 有三	(鹿島アントラーズ)
	矢野 貴章	(アルビレックス新潟)

計 22 名

14. 日本代表 2010FIFA ワールドカップ 南アフリカ アジア 3 次予選の件

行事名：2010FIFA ワールドカップ アジア 3 次予選 vs バーレーン代表

期 間：2008 年 3 月 17 日 (月) ～ 3 月 27 日 (木)

場 所：ドバイ・バーレーン

[スケジュール]

3 月 17 日 (火) 集合・出発

18 日 (火) ～ 23 日 (日) トレーニング (ドバイ)

24 日 (月) トレーニング・バーレーン移動

25 日 (火) 公式練習

26 日 (水) 日本代表 vs バーレーン代表・現地発

27 日 (木) 帰国

[スタッフ]

団 長 : 大仁 邦彌 ((財)日本サッカー協会 副会長)

技術委員長 : 小野 剛 ((財)日本サッカー協会 特任理事)

監 督 : 岡田 武史 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 大木 武 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 大熊 清 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

コーチ : 小倉 勉 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

GK コーチ : 加藤 好男 ((財)日本サッカー協会ナショナルコーチングスタッフ)

テクニカルスタッフ : 和田 一郎 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)

テクニカルスタッフ : 武藤 覚 ((財)日本サッカー協会テクニカルハウス)
 ドクター : 森 孝久 (つばさクリニック)
 アスレティックトレーナー: 早川 直樹 ((財)日本サッカー協会)
 アスレティックトレーナー: 前田 弘 ((財)日本サッカー協会)
 アスレティックトレーナー: 池内 誠 (フリー)
 統括 : 山下 恵太 ((財)日本サッカー協会代表チーム部係長)
 総務 : 津村 尚樹 ((財)日本サッカー協会代表チーム部)
 メディアオフィサー : 永松 太 ((財)日本サッカー協会広報部)
 宿泊・輸送 : 瀧森 誠 (西鉄旅行(株))
 キットマネージャー : 山根 威信 (アディダスジャパン(株))
 キットスタッフ : 麻生 英雄 (アディダスジャパン(株))

[選手]

GK 川口 能活 (シェェビロ磐田)
 檜崎 正剛 (名古屋グランパス)
 川島 永嗣 (川崎フロンターレ)
 DF 中澤 佑二 (横浜F・マリノス)
 駒野 友一 (シェェビロ磐田)
 水本 裕貴 (ガンバ大阪)
 安田 理大 (ガンバ大阪)
 内田 篤人 (鹿島アントラーズ)
 MF 稲本 潤一 (アイントラウト・フランクフルト[ドイツ]) ※負傷により辞退
 羽生 直剛 (FC東京)
 遠藤 保仁 (ガンバ大阪)
 中村 憲剛 (川崎フロンターレ)
 鈴木 啓太 (浦和レッドダイヤモンズ)
 阿部 勇樹 (浦和レッドダイヤモンズ)
 山瀬 功治 (横浜F・マリノス)
 今野 泰幸 (FC東京)
 山岸 智 (川崎フロンターレ)
 FW 高原 直泰 (浦和レッドダイヤモンズ)
 玉田 圭司 (名古屋グランパス)
 巻 誠一郎 (シェェフユナイテッド千葉)
 田代 有三 (鹿島アントラーズ)
 大久保 嘉人 (ヴェルディ神戸) 以上

15. 平成19年度公認A級コーチ養成講習会判定結果の件

※(報告)資料No.1

16. 平成 19 年度公認 A 級コーチ U 12 養成講習会判定結果の件

※（報告）資料 No.2

17. 平成 19 年度公認 B 級コーチ養成講習会判定結果の件

※（報告）資料 No.3

18. 平成 20 年度 トレセン支援制度の件

※（報告）資料 No.4 ①～⑨

- | | |
|-------------------------|-------|
| ・地域リーグ追加支援制度 | 資料①② |
| ・U-16地区リーグ支援制度 | 資料③④⑤ |
| ・9地域スタッフ研修会支援制度 | 資料⑥⑦ |
| ・9地域GKトレーニングキャンプ支援補助金制度 | 資料⑧⑨ |

19. J F A ・ J リーグ特別指定選手制度の件

選手： 近藤 慎吾

（所属歴： ← 海星高等学校 ← 三滝中学校サッカー部

← 大和市立南林間中学校サッカー部 ← 西鶴間サッカークラブ）

所属元： 明治大学体育会サッカー部

受入先： 横浜FC

承認日： 2008年4月1日

20. U-14 日本選抜 A F C U 14 フェスティバルの件

行事名：U-14 日本選抜 A F C U 14 フェスティバル

期 間：2007年4月19日(土)～27日(日)

場 所：茨城県・鹿島ハイツ／中国・北京

[スケジュール]

4月 19日(土) 集合・トレーニング

20日(日) 出発・到着後トレーニング

21日(月)

| A F C U 14 F e s t i v a l

26日(土)

27日(日) 帰国・解散

[スタッフ]

監督：吉武 博文 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)
 コーチ：星原 隆昭 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)
 GKコーチ：望月 数馬 ((財)日本サッカー協会ナショナルトレセンコーチ)
 トクター：船越 雄誠 (聖隷浜松病院)

[選手]

GK	斉藤 康平	静岡県	(清水エスパルスジュニアユース)
GK	中村 航輔	千葉県	(柏レイソルU-15)
	早川 史哉	新潟県	(アルビレックス新潟ジュニアユース)
	中川 雄貴	北海道	(コンサドーレ札幌ユースU-15)
	山田 融	神奈川県	(横浜F・マリノスジュニアユース)
	鈴木 隆雅	宮城県	(FC宮城バルセロナ)
	長谷川 竜也	静岡県	(静岡学園中学校)
	徳永 裕大	大阪府	(ガンバ大阪ジュニアユース)
	天田 悠太	京都府	(京都サンガF.C.U15)
	坪井 雄哉	大阪府	(ガンバ大阪ジュニアユース)
	宮村 緯	静岡県	(ジュビロ磐田ジュニアユース)
	小峯 洋介	埼玉県	(浦和レッズダイヤモンズジュニアユース)
	相場 遥介	神奈川県	(横浜F・マリノスジュニアユース)
	飯干 雄斗	福島県	(JFAアカデミー福島)
	楠美 圭史	東京都	(東京ヴェルディ1969ジュニアユース)
	武井 謙介	東京都	(FC東京U-15むさし)
	宇佐見 康介	神奈川県	(横浜F・マリノスジュニアユース)
	神田 夢実	北海道	(コンサドーレ札幌ユースU-15)
	石毛 秀樹	静岡県	(清水エスパルスジュニアユース)
	和田 倫季	兵庫県	(ヴィッセル神戸ジュニアユース)
	新井 純平	埼玉県	(浦和レッズダイヤモンズジュニアユース)
	松本 昌也	福島県	(JFAアカデミー福島)

計 22名